※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	学歴史探訪	単位数	１単位	年次	１・２年次
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は，３日間のフィールドワーク（休みの日に実施）を行う集中講座の授業です。
事前学習会でフィールドワーク先の歴史地理の概要を学んだ後、現地に関する興味を持った事柄を調べ、フィールドワーク先で発表します。フィールドワーク後は事後レポートを提出します。
3 回のフィールドワーク終了後、興味関心を持ったテーマで新たな「問い」を立て、歴史の謎に挑む探究学習を行い、その成果をプレゼンテーションします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界遺産や史跡について調べ、博物館で知識を整理・理解することができる
【思考力、判断力、表現力等】
歴史的地理的なものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができる
【学びに向かう力、人間性等】
フィールドワークを通じて、自ら「問い」を立て、調べ、主張をまとめたプレゼンテーションを行うことができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地元の世界遺産や史跡について調べ、博物館で知識を整理・理解することができている	歴史総合、地理総合で学んだ歴史的地理的なものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができている	フィールドワークを通じて、自ら「問い」を立て、調べ、主張をまとめたプレゼンテーションを行うことができている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1回FW	「弥生博物館と池上曽根遺跡」 弥生文化博物館～池上曽根遺跡公園～弥生文化学習館にて勾玉つくりなど	a: 弥生時代の史跡について調べ、博物館で知識を整理・理解することができる b: 歴史的地理的なものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができる c: 自ら「問い」を立て、計画的に探究することができる	事前学習の理解、調べ学習と発表を評価	事後レポートで評価	「問い」の発見と計画書の作成を評価
	第2回FW	「大坂城と大阪歴史博物館」 大坂城～第四師団跡～大阪歴史博物館～上町台地～難波の宮跡など～	a: 地元の大阪や史跡について調べ、博物館で知識を整理・理解することができる b: 歴史的地理的なものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができる c: 自ら「問い」を立て、計画的に探究することができる	事前学習の理解、調べ学習と発表を評価	事後レポートで評価	「問い」の発見と計画書の作成を評価
	第3回FW	「富田林の街づくりと寺内町」 富田林寺内町～講演とフィールドワーク～	a:富田林寺内町について調べ、実際に見て知識を整理・理解することができる b: 歴史的地理的なものの見方考え方を生かし、学んだことを整理しレポートにまとめることができる c: 自ら「問い」を立て、計画的に探究することができる	事前学習の理解、調べ学習と発表を評価	事後レポートで評価	「問い」の発見と計画書の作成、プレゼンテーションを評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度